

第39回 沖縄県児童養護研究大会 開催要項

過去を知り、^{いま}現在を理解して、未来を考える
～ ライフストーリーワークを学ぶ ～

- 趣 旨**

平成28年の児童福祉法の改正をうけ、国が発出した「新しい社会的養育ビジョン」では、里親委託の推進や児童福祉施設の高機能化・多機能化が示されており、本県においても社会的養育推進計画が策定・推進されております。

また、深刻化する児童虐待に対応すべく、児童福祉法及び児童虐待防止法が改正され、保護者等の体罰禁止の明文化や児童相談所の体制強化等、児童の養育環境の改善と権利擁護の確立が求められております。

このような中、我々児童福祉関係者は児童一人ひとりの背景や特性を考慮し、「児童の最善の利益」を最優先に考え、支援にあたるとともに、児童福祉施設や里親、児童相談所等をはじめとする関係機関・団体が連携を密にし、包括的に児童や子育て家庭を支える仕組みづくりが重要となります。

本研究大会は、県内の児童福祉関係者が一堂に会し、様々な背景や課題を抱えた児童に適切に対応するための支援や今後の社会的養育のあり方等について学び、児童の健全な育成と自立に向けた取り組みの強化に資することを目的に開催します。
- 主 催** 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会、沖縄県児童養護協議会
- 開催方法** オンライン（オンデマンド配信／Zoom ライブ配信）
- 日 時**

(1) 行政説明・記念講演 … オンデマンド配信（Vimeo）
令和4年11月7日(月)～12月2日(金)

(2) 研究部会 … ライブ配信（Zoom） ※後日配信はありません。

第1研究部会	令和4年11月28日(月)	10時～12時
第2研究部会	令和4年11月9日(水)	10時～12時
第3研究部会	令和4年11月16日(水)	10時～12時
- 参加対象** 児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、児童心理治療施設、自立援助ホーム、母子生活支援施設、県母子寡婦福祉連合会、県里親会、児童相談所、保育所、福祉事務所等児童福祉関係者、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、学校関係者、学生 他
- 参加費** 1人につき 2,500円（学生のみ1人につき 500円）
※お一人で複数の研究部会に申し込む場合は、その分の参加費が必要となります。

7. 申込締切 令和4年10月21日(金) 17時まで

8. 行政説明 「沖縄県社会的養育推進計画の方向性と児童福祉の動向について」(仮題)

説明者：沖縄県 子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課

児童育成班長 新里 修一 氏

9. 講演 「子どもとライフストーリーを分かち合う ～過去・現在・未来を紡ぐ～」

講師：大阪ライフストーリー研究会 主宰 才村 眞理 氏

大阪女子大学学芸学部社会福祉学科卒業。

佛教大学大学院社会学修士(社会福祉学専攻)修了。

1971年より大阪府児童相談所へ児童福祉司として勤務。その後砂川厚生福祉センター主査、大阪府東大阪子ども家庭支援センター家庭支援課長を経て大阪府を退職。

1999年より帝塚山大学人文科学部助教授、帝塚山大学心理福祉学部地域福祉学科教授、武庫川女子大学発達臨床心理学研究所研究員を歴任。

現在は、大阪ライフストーリー研究会主宰、精子・卵子の提供により生まれた人のためのライフストーリーワーク研究会主宰、社会的養護の子どもたちへのライフストーリーワーク啓発活動中。



10. 研究部会 ※ 詳細については、下記のとおり。

切れ目のない支援について	
第1研究部会	社会的養育を必要とする児童の多くは、複雑な家庭環境により措置を余儀なくされ、児童福祉施設や里親のもとで生活している。 このように、施設や里親のもとで暮らす子どもが信頼できる大人のサポートのもと、自身のこれまでの生い立ちを振り返ることで、自身の人生の物語を作ることができ、不安だったり疑問だったりしたことが、すくとんと子どもの心に落ち、今の生活を理解し、未来の人生を考えることができるようになるための手法を「ライフストーリーワーク」と言う。 本研究部会は、乳児院から児童養護施設や里親家庭へ措置変更となった子ども達の支援が途切れることなく続けていけるよう「ライフストーリーワーク」を活用した事例について関係者全体で共有し、今後のより良い支援に繋げることを目的とする。
	運営方法 実践発表、グループ討議
	助言者 大阪ライフストーリー研究会 主宰 才村 眞理 氏
	発表者 乳児院 吉水寮 養育主任 宇根 涼子 氏 「乳児院のライフストーリーワーク」(仮題)

第2 研究部会	食育の大切さを学ぶ	
	<p>近年、児童養護施設等では、できるだけ家庭に近い形で、職員との個別的な関係性を重視したきめ細やかなケアを行うため、施設の小規模化が進められている。</p> <p>さらに児童養護施設等は、子どもにとって基本的な生活の場であり、安全で健やかに成長できる環境が求められている。</p> <p>本研究部会では、施設の小規模化を見据え、食材を取り扱う際の基本的知識や安全・安心な食事提供について学ぶとともに、子どもの健やかな心身の成長のために食育を通してどのように支援できるかを考える。</p>	
	運営方法	講義、グループ討議
	講師	ロクト整形外科クリニック 管理栄養士 田島 隆次 氏
第3 研究部会	関係機関連携による支援の充実について	
	<p>平成29年8月に発出された「新しい社会的養育ビジョン」では、社会的養育を担う児童福祉施設の小規模化や地域分散化の更なる推進と、里親や地域の子育て家庭の支援等、児童福祉施設の高機能化・多機能化が示された。</p> <p>このような中、本研究部会では、施設だけではなく、医療機関や学校教育等各関係機関との連携により、子どもの特性等を理解し、参加者による協議を深め、今後の適切な支援に繋げていきたい。</p>	
	運営方法	実践発表、グループ討議
	助言者	医療法人 社団 輔仁会 田崎病院 院長 島袋 盛洋 氏
発表者	<p>児童自立支援施設 沖縄県立若夏学院 児童自立支援専門員（主事） 山城 紹太 氏 「知的児童への関わり方と関係者との連携について」</p>	

II. 申込方法

(1) 本会ホームページからお申込みください。

「受講申込入力フォーム」へアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。

<https://www.okishakyo.or.jp/workshop/>

※最終ページで「自分にも送信内容のメールを送る。」に必ず✓マークを入れてください。受付完了後、確認メールが登録されたメールアドレスに自動送信されます。(確認メールが届かない場合はお問い合わせください)。

(2) お申し込みと合わせて下記本会指定口座へ参加費をお振込みください。

(3) 振込手数料は申込者にて御負担ください。

(4) 申込後のキャンセルについては返金致しません。

(5) 参加費の現金納付は受け付けいたしません。

金融機関：琉球銀行 石嶺支店 普通預金
口座番号：315935
口座名義：社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川昌秀
フリガナ：フク、オキナワケンシャカイフクシキョウギカイ

※お振り込み者が確認できるよう。必ず御依頼人名(施設名)を先に御記入ください。

【記入例】「△△園」または「△△園 児童養護施設」と御記入ください。

「児童養護施設 △△園」はNGです。

(通帳記帳の際に「ジドウヨクシツ…」となり確認できません)

12. 自然災害等による研究大会中止の場合

(1) 参加費については、振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。

※自然災害等による研究大会の中止または延期等の御案内は本会ホームページにて掲載いたします (<https://www.okishakyo.or.jp/>)。

13. オンライン開催にあたって (留意事項)

- (1) 申込者 (または施設) には、アドレス (URL) をメールにてお知らせいたします。
- (2) インターネットによるオンライン配信となります。各施設におけるインターネット環境について事前に確認をお願いします。
- (3) インターネットによる動画が閲覧できる環境であれば問題ありません。スマートフォン、タブレット端末による視聴も可能です。
- (4) スピーカー機能、マイク機能が必要になります (講師の声を聴くためや、グループワークでの発言のために必要です)。
- (5) 研究部会ではグループワークが行われますので、カメラ機能が必要になります。必ず御準備ください。
- (6) その他、気になる点がある際は、事務局までお問い合わせください。

14. 個人情報のお取り扱い

申込フォームに入力された個人情報は、当研究大会の運営管理の目的のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

15. 申込先及びお問合せ先

沖縄県児童養護協議会・事務局 (担当：仲村政利・翁長湖夏)

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1 (西棟4階)

TEL: 098-887-2000 FAX: 098-887-2024

E-mail: jiyoukyou@okishakyo.or.jp